

これってな～に??

～ がいらいしゅ ざいらいしゅ
外来種・在来種 ～



みらい つな しぜんたいけんがくしゅう さと
未来に繋ぐ自然体験学習の里づくり

ふちゅう 府中ふるさと新聞



へいせい ねん がつ ふちゅう ちく きょうぎかい はっこう
平成27年10月 府中地区まちづくり協議会 発行

みな がいらいしゅ ざいらいしゅ ことば し ざいらいしゅ ちいき むかし はんしよく
皆さんは外来種、在来種という言葉を知っていますか？在来種は地域に昔から繁殖
つづ せいぶつ がいらいしゅ た ちいき ひと て も こ せいぶつ
し続けている生物のこと。外来種は他の地域から人の手によって持ち込まれた生物のこ
がいらいしゅ かくだい ざいらいしゅ ぜつめつ おそ かんきょうもんだい
とです。外来種の拡大は在来種の絶滅につながる恐れがあるため、環境問題のひとつ
あつか
として扱われるようになりました。

わたし まわ おお かお がいらいしよくぶつ
さて、私たちの周りには大きな顔をしてのさばっている外来植物がたくさんありま
す。セイタカアワダチソウ…これは要注意です！「アレロパシー」という化学物質を根
だ しゅうへんしよくぶつ せいちょう よくせい にほんざいらい
から出し、周辺植物の成長を抑制してしまいます。セイヨウタンポポ…日本在来の
せいいくおうせい お かくち
タンポポが、生育旺盛なセイヨウタンポポに追いやられているため、各地でニホンタン
ほ こかつどう おこな わす ちゅうごく
ポポの保護活動が行われています。そして忘れてならないのがニワウルシです。中国
げんさん にほん めいじしよき とらい じゅうこう せいちょう はや
原産で日本には明治初期に渡来しました。樹高は10～20cmにもなり、成長が早く、
しゅし かげ の とお ひさん
種子が風に乗って遠くまで飛散するため、あっという間にニワウルシに埋め尽くされて
しまうのです。

たいさく ひつよう さいげつ がいらいしよくぶつ ぼっさい
ではどのような対策が必要なのでしょうか。歳月をかけて外来植物を伐採し、また
いちどていちゃく がいらいしよくぶつ こんぜつ むすか ざいらいしよくぶつ しよくじゅ がいらい
一度定着した外来植物を根絶するのは難しいので、在来植物を植樹するなど、外来
しよくぶつ せいいく かんきょう つく わたし ちいき ねんまえ みらい つな
植物が生育しにくい環境を造ることで。私たちの地域では3年前から「未来に繋ぐ
しぜんたいけんがくしゅう さと なか かつどう おこな かぞ き
自然体験学習の里づくり」の中で、すでにこの活動を行っています。数え切れないほ
ぼっさい ことし ほん ざいらいしよくぶつ しよくじゅ ざいらいしゅ かく
どのニワウルシを伐採し、今年は70本もの外来植物を植樹しました。在来種に囲ま
しぜんたいけんがくしゅう さと めざ こんご かつどう つづ
れた「自然体験学習の里」を目指し、今後もこの活動を続けていきます。

編集後記

ふちゅう しんぶん ごうめ ないよう つた わたし かつどう さんか
「府中ふるさと新聞」も3号目。内容を伝えるため私たちが活動に参加し、
しゅざい おこな かい い い しめんさくせい てき おも
取材を行いました。その甲斐あって生き生きとした紙面作成が出来たと思いま
ふちゅう あいちやく ほか
す。また、ふるさと府中への愛着も深まりました。
おとな こ はばひろ あいどく へんしゅうぶちから あ
大人から子どもまで幅広く愛読していただけるよう編集部力を合わせてがん
みな おうえん ねが
ばりますので、皆さんの応援よろしくお願ひします！
へんしゅうぶいん こたまなおや おがわまさや いたうみづき やすむらりょうへい たかしまかすき せきやりか こ
編集部員：児玉直也／小川雅弥／伊藤海月／安村涼平／高島一起／関谷梨華子

はじめに…

10月4日（日）に「ビオトープづくり2015」を実施しました。

がいらいしよくぶつ ぼっさい か ざいらいしよくぶつ う
外来植物であるニワウルシを伐採して、代わりにクヌギやコナラなどの在来植物を植
えることにより、この地域特有の自然を再生しようとの取り組みです。今回は住民の皆
しょう ちゅうがくせい あわ めい かたがた さぎょう さんか いっしょ たの あせ
さんと小・中学生を合せて150名の方々が作業に参加して下さり、一緒に楽しく汗
なが さんか さんか みな しぜんかんきょう まも たいせつ
を流していただきました。参加いただいた皆さんには自然環境を守るための大切さを
じっかん
実感いただけたことでしょう。

また作業後にふるまわれたおでんの味は格別でした。

ことし がつ にち にち いびがわちょう かいさい だい かいぜんこくいくじゅ
今年のビオトープづくりは10月11日（日）に揖斐川町で開催された「第39回全国育樹
さい たるいちよう ぎょうじ してい
祭」の垂井町における「サテライト行事」に指定されました。

このため、町の協力も得て、藤壇県議会議員、中川町長をはじめとするご来賓に
たるいちよう き きねんしよくじゅ とくべつ いっそうゆういぎ かつどう
よる垂井町の木・ケヤキの記念植樹を特別におこなうことができ、一層有意義な活動と
することができました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

ふちゅう ちく きょうぎかい かいちよう はやせ まさとし
府中地区まちづくり協議会 会長 早瀬 正敏

メニュー	
1. はじめに	
2. メニュー	
3. 特集：第39回全国育樹祭サテライト行事「ビオトープづくり2015」	
4. ヤング・ボイス	
5. これってな～に??	
6. 編集後記	



わたしが作りしました。
どうぞお楽しみ下さい。

第39回全国育樹祭サテライト行事 「ビオトープづくり2015」 平成27年10月4日開催



急に気温が低下した9月下旬。打って変わって10月
は夏日が続きました。そんなよい天気の中、「ビオトープ
づくり2015」が開催されました。今年は全国育樹祭の
サテライト行事としての開催となり、記念植樹を行う
など、特別なものとなりました。

地区長も植樹のための穴掘り、土留めの
土を一輪車で運ぶなど大いに活躍しました。
スコップやクワといった、ふだん使わない
道具に悪戦苦闘しながらも地域の皆さんに
ご指導いただきながら作業していました。



道路の影響から金地川の生物を保護するため、河岸に
ネムヤコナラ、クヌギなどを植樹しました。ホテルまつ
りの際、車のライトを遮る役割も果たしてくれると
期待しています。
日当たり良好！成長が楽しみです。



ミナモと一緒にハイポーズ！

今年も北中の卒業生がお手伝い！

植樹した木の名前をプレートに記入し、それぞれ
の木に取り付ける作業を、小さな子ども達と一緒に
行いました。イラストを取り入れるなど、工夫をこ
らしたプレートに仕上げていました。

作業でお腹が空いている皆さんに数々のふるまいで
おもてなしです。府中地区商工会はおいしいキャラメ
ルポップコーンを用意しました。ポップコーンは府中
地区では定番、慣れ親しんだ味です。
青少年育成協力推進員は5種類の具が入ったおでん
を準備しました。参加者は「よく味が染みているお
いしい！」と喜んでいました。



府中地区まちづくり協議会は、誰もが安心して自然
を楽しみ、観察できるビオトープを目指して今後も
活動していきます。



地域の方々と在来種の植樹ができ、貴重な
体験となりました。しっかりと育ててほしいと
思います。私たちが大人になったとき、かわ
らざるきれいな水が流れる場所であってほしい
と思いました。

北中学校 2年 松田麗奈

この活動を通して、多くの自然が破壊され
ている今、残された貴重な生物生息空間とし
てのビオトープを保全したり、植樹すること
は大事だと思いました。今後もこのような
活動が続けていきたいです。

北中学校 2年 児玉直也

在来種の樹木で知らない木もありました。
在来種で金地川周辺がうめつくされるとい
いなと思いました。この活動を地域の皆さん
と広めていきたいと思っています。

北中学校 2年 小川雅弥

金地川周辺を在来植物で一杯にしたいと
思いました。今回植樹した木々が元気に
成長してくれたらうれしいです。

北中学校 2年 中井愛乃

友達や地域の方と植樹ができてとてもよ
かったです。だんだん植物、樹木が切り倒さ
れて少なくなっている現状が悲しいです。
金地川の自然を大切にしたいです。

北中学校 2年 不破章太

僕たちの活動で垂井町の環境を良くでき
たらいいなと思いました。家では水を出しっ
ぱなしにしないよう気をつけています。

北中学校 2年 高島一起

ヤング・ボイス